

# かみさか たつあき

公明党さいたま市議会議員 6月議会 市政レポート Vol.78

## 全市立小学校で

## 午前7時からの「朝預かり」を

### 『小1の壁』解消へ

横浜市でモデル事業始まる

子どもが小学校に進学すると保育園などよりも子どもを預けられる時間が短くなり、今まで通りの仕事が続けにくくなる。いわゆる「小1の壁」が発生しています。

この問題を解消するためには、全市立小学校で開門時間を午前7時に早め、教室や体育館などで児童を預かる「朝預かり」制度の創設を提唱しました。

### 子育てと仕事をしやすく

子育てしやすい環境づくりを考えると、これまでは放課後の預かりばかりで、朝の時間は議論されてきませんでした。私は、目の前で困っている保護者に対して何が必要かという視点から、市に対して保護者のニーズを具体的に把握し早急な施策の展開を求めました。



## 学童で夏休み昼食提供を

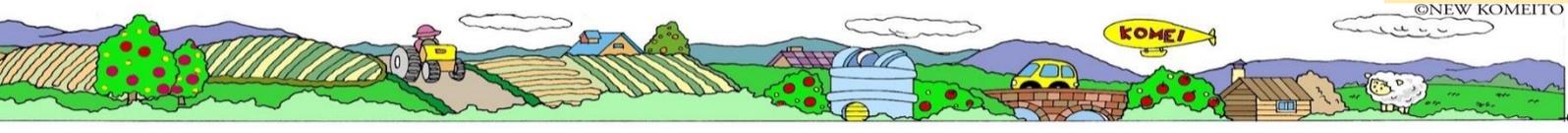
### 子育て世帯にゆとりを

夏休みなどの昼食提供について保護者からは、「お弁当を作ってあげたい気持ちはあっても毎日では厳しい」「学童で昼食があるとありがたい」等の声が寄せられています。

横浜市では、ニーズ調査の結果（93%が利用を希望）、夏休み中の昼食提供を決定しました。一食400円、スマホで注文し、キャンセル、決済が出来ます。モデル事業をこの夏行い課題等を整理するとしています。



「子育て世帯にゆとり」を目指します！



## 心疾患は日本人の死因 第2位

心不全とは、心臓に何らかの異常があり、心臓のポンプ機能が低下して全身の臓器に必要な血液を十分に送り出せなくなった状態のことです。心不全を含む心疾患は、日本人の死因として「がん」に次ぐ第2位となっています。

### 『BNP 検査』に公費助成を

現在、全国には約120万人の心不全患者がおり、高齢化の進展に伴い、2030年には心不全患者の大幅な増加によって医療現場が逼迫する『心不全パンデミック』が予想されています。

こうした課題の克服に向け、6月議会では心臓機能の健康度が分かる血液検査の『BNP 検査』への公費助成制度の導入を求めました。

### 心不全と医療費について

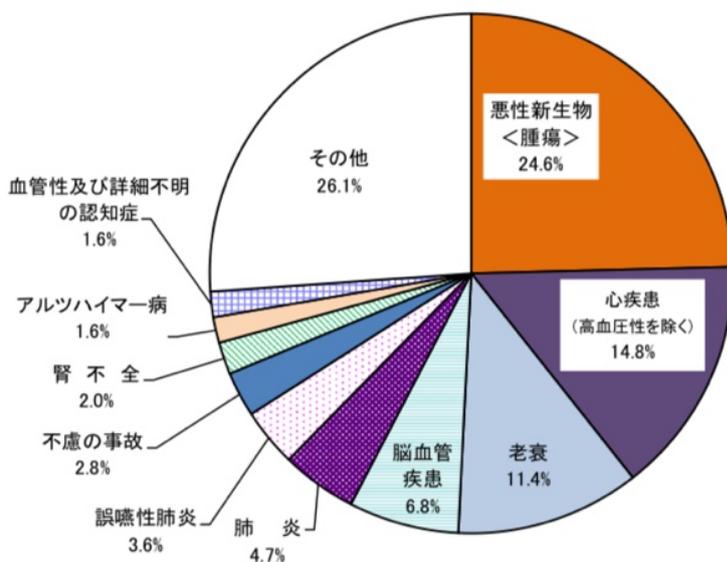
厚生労働省が公表した令和3年度 国民医療費の概況によると、国民医療費は45兆359億円。医科診療医療費を傷病分類別に見ると、循環器系の疾患は6兆1116億円（構成比率18.9%）と最も高くなっています。

今後さらに進展する高齢化により、循環器疾患による医療費はますます増加することが予測されます。このことから『BNP 検査』への公費助成の導入は、心不全の早期発見・早期治療に資するとともに、医療費の削減につながると訴えました。

### BNP 検査とは・・・

心臓を守るために心臓から分泌されるホルモンのこと。心臓の機能が低下し、心臓への負担が大きいほど多く分泌され数値が大きくなる。

日本人の主な死因の構成割合



出典：人口動態統計月報年計の概要 令和4年（2022）



## かみさかたつあき 市民相談 常時受付中!

暮らしの中での困りごとなど、市民からの相談をお受けしています。市政に関するご要望やご意見などございましたら、お気軽にお聞かせください。

e-mail : [kamisaka@cb3.so-net.ne.jp](mailto:kamisaka@cb3.so-net.ne.jp)

住所：さいたま市緑区三室 89-19 FAX : 048-875-6766

